

全国的な未曾有の爆発的感染拡大を踏まえた 緊急事態宣言の適用拡大等を受けて

本日、政府対策本部において、変異株による全国的な未曾有の爆発的感染拡大を踏まえ、新たに8道県を「緊急事態宣言」の対象に加えるとともに、4県に「まん延防止等重点措置」を適用することとされ、9月12日までの対策を講じることとされた。これは各知事の意向を踏まえ速やかに適用拡大を頂けたものと感謝する。引き続き、現場を預かる知事の要請に即応し、迅速かつ機動的に運用されるようお願いする。

一方、全国各地において引き続き過去最多の新規感染者数を記録し続け、全国では「2万人超となることが常態化」する等情勢は深刻さを増しており、夏季休暇期間中の人の移動により感染が全国に拡大したことに加えて、「新学期開始の影響」も懸念され、既に個別の都道府県や自治体のコントロールが困難になる非常に危機的な局面に入っており、まさに国難と言わざるを得ない。

我々全国知事会としても、引き続き、47人の知事が一致協力し、国とともに感染を抑え込む決意であり、政府としても、未曾有の爆発的感染拡大とそれに伴う医療逼迫の現状を直視し、例えば、全国に「緊急事態宣言」又は「まん延防止等重点措置」を適用した上で各知事が「地域の感染状況に応じた対策・地域を選択できる運用」の導入や、いわゆる「ロックダウン的手法」について法整備のみならず「基本的対処方針の変更による即時対応」も含めて検討するほか、ロードプライシングやテレワークなどの運用強化も含めて、「これまでにない感染防止対策」を強力に発動し、強いメッセージで国民に呼びかけるとともに、医療人材・医療提供体制の広域的調整や抗体カクテル療法、ワクチン接種の加速化など、「医療崩壊を来さないよう手厚い支援」を行っていただきたい。あわせて、1兆4千億円の予備費活用を決定されたことは評価するとともに、感染防止策や経済・雇用支援策への財源措置など、現時点で対応可能なあらゆる施策を迅速に講じられるよう強く求める。

令和3年8月25日

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長・全国知事会会長 徳島県知事 飯泉 嘉門

本部長代行 鳥取県知事 平井 伸治